



Ubiquitous Solution Company

KDDI 株式会社

2009年3月期 第3四半期決算
(2008年4月 - 12月)

2009年1月23日

この配付資料に記載されている業績目標及び契約数目標等はいずれも、当社グループが現時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済環境、競争状況、新サービスの成否などの不確実な要因の影響を受けます。

従って、実際の業績及び契約数は、この配付資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おき下さい。

1.1. 決算総括 (1-3Q累計)

1 連結ベース

- 営業収益は前年同期比 -0.3%、営業利益は同+9.6%の減収・増益。
 営業利益の通期見通しに対する進捗率は 91.8%。
- 4ビル買戻し(新宿・大手町他:2,071億円)による匿名組合契約終了に伴う
 配当金363億円を特別利益に計上。

2 移動通信事業

- 営業収益は前年同期比 -2.4%、営業利益は同+7.6%の減収・増益。
- 12月末のauの契約数は3,055万で、累計シェア28.9%。

3 固定通信事業

- セグメント範囲見直しの影響もあり、営業収益は前年同期比+18.9%の増収。
 営業利益は364億円の赤字。
- 12月末の固定系アクセス回線^注は527万。
- ひかりoneホーム「ギガ得プラン」を関東・札幌エリアにおいて10月1日より提供開始。

- 手軽に音楽・映像が楽しめる「au BOX」を11月1日より提供開始。

1.2. 2009年3月期の業績見通し

期初予想	今回予想(増減)
------	----------

1 連結ベースでは、移動通信事業において端末販売台数の減少が見込まれることから、営業収益は期初予想に対し減収の見通し。

なお、端末販売原価等の営業費用の減少を見込み、営業利益の見通しは変更なし。

▶ 営業収益	: 37,000億円	35,000億円 (2,000億円)*
営業利益	: 4,430億円	4,430億円 (-)

* 営業収益見通しの変更 2,000億円は全て移動通信事業。

▶ 主な理由

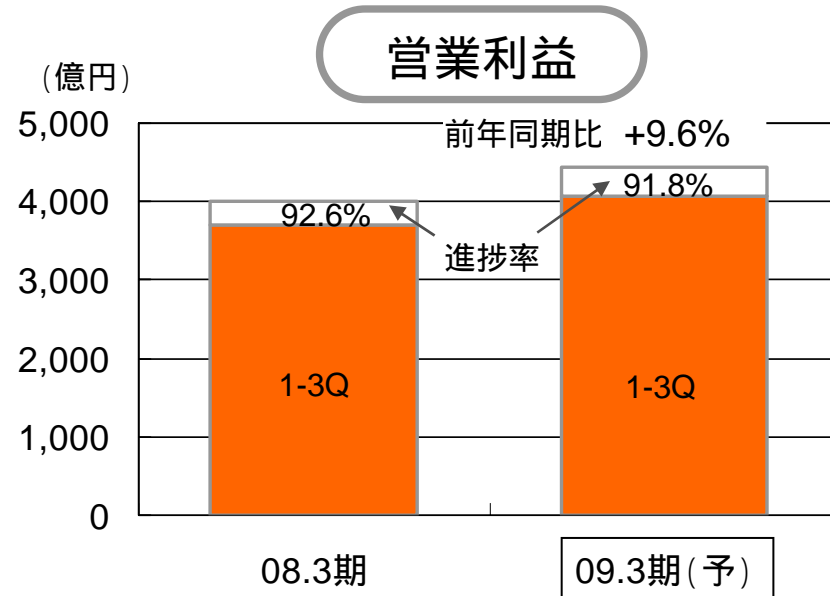
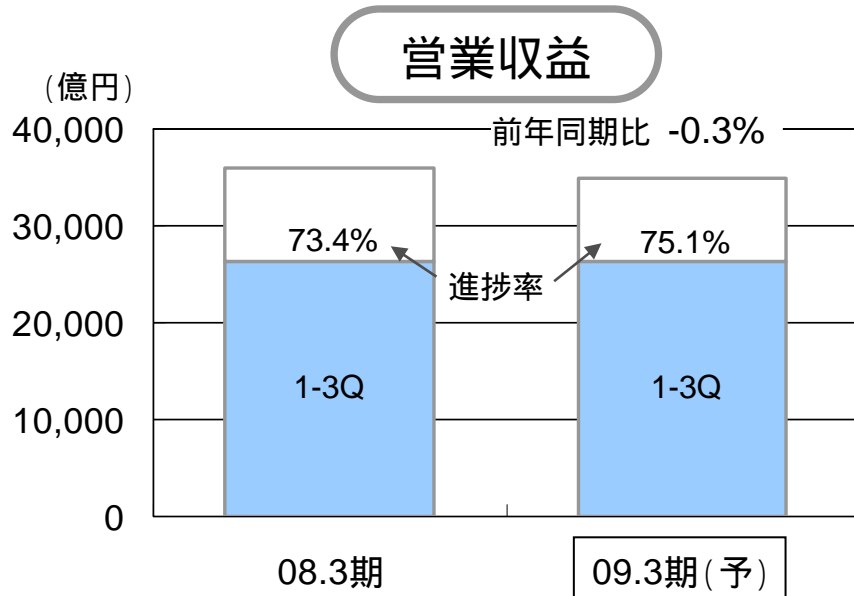
- au端末販売台数	: 1,440万台	1,090万台 (350万台)
------------	-----------	------------------

2 4Qに国内伝送路設備の減損等を特別損失に見込んでいるが、4ビル買戻しによる匿名組合契約終了に伴う配当金(3Q計上)等の特別利益が損失を吸収すると見込まれるため、当期純利益の見通しは2,500億円で変更なし。

3 設備投資の見通しは、5,900億円で変更なし。

(注) 数値はセグメント表示があるものを除き、全て連結ベース。

2. 連結決算



(億円)

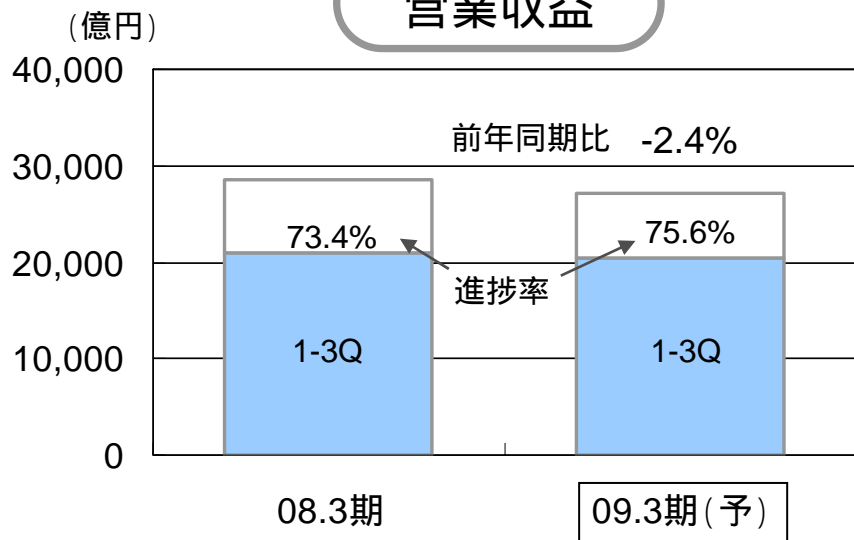
	08.3期		09.3期(予)			09.3期	
	1-3Q		1-3Q	前年同期比	進捗率	今回予想	期初予想
営業収益	26,387	35,963	26,297	-0.3%	75.1%	35,000	37,000
営業利益	3,710	4,005	4,067	+9.6%	91.8%	4,430	4,430
マージン	14.1%	11.1%	15.5%	-	-	12.7%	12.0%
経常利益	3,755	4,079	4,058	+8.1%	92.2%	4,400	4,400
当期純利益	2,148	2,178	2,539	+18.2%	101.6%	2,500	2,500
FCF	946	-125	-717	-	-	-1,640	-2,240
EBITDA	6,399	7,692	7,229	+13.0%	82.0%	8,810	8,810
マージン	24.3%	21.4%	27.5%	-	-	25.2%	23.8%

(注)

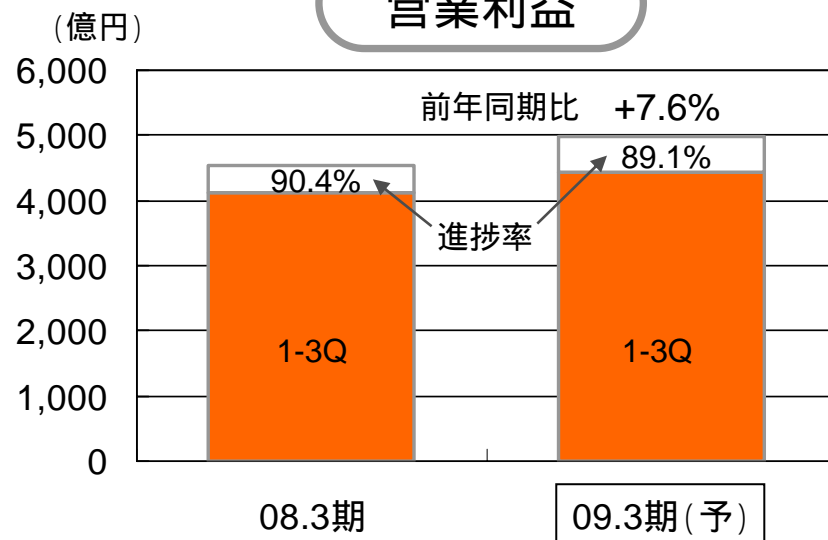
(注) 4/24の期初予想は-170億円。4ビル買戻しの影響を踏まえ、第2四半期に-2,240億円へ変更。

3. 移動通信事業

営業収益



営業利益

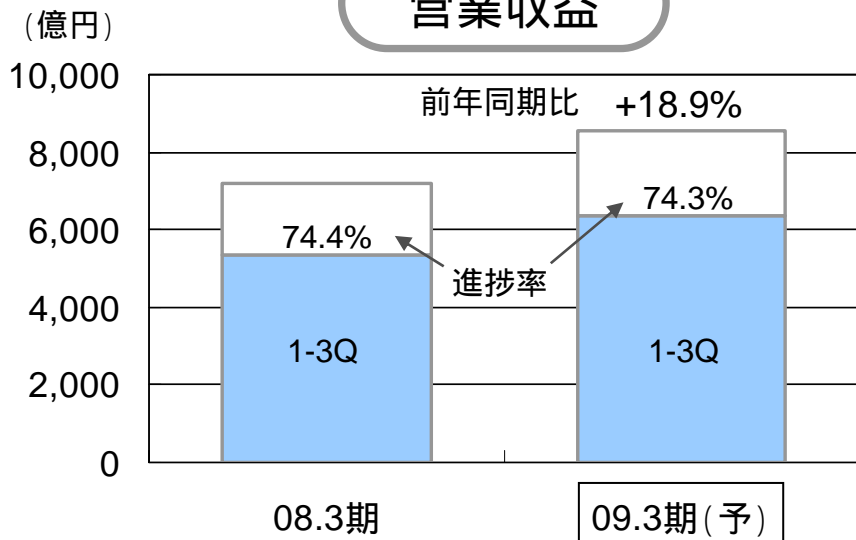


	08.3期		09.3期(予)				09.3期 期初予想
	1-3Q		1-3Q	前年同期比	進捗率	今回予想	
営業収益	21,004	28,626	20,495	-2.4%	75.6%	27,110	29,110
au	20,903	28,517	20,495	-2.0%	75.6%	27,110	29,110
ツーカー	101	109	-	-	-	-	-
営業利益	4,114	4,550	4,426	+7.6%	89.1%	4,970	4,970
マージン	19.6%	15.9%	21.6%	-	-	18.3%	17.1%
経常利益	4,172	4,635	4,489	+7.6%	89.2%	5,030	5,030
当期純利益	2,424	2,665	2,677	+10.4%	91.7%	2,920	2,920
FCF	1,540	824	1,430	-	-	1,270	1,270
EBITDA	5,842	6,922	6,577	+12.6%	82.8%	7,940	7,940
マージン	27.8%	24.2%	32.1%	-	-	29.3%	27.3%

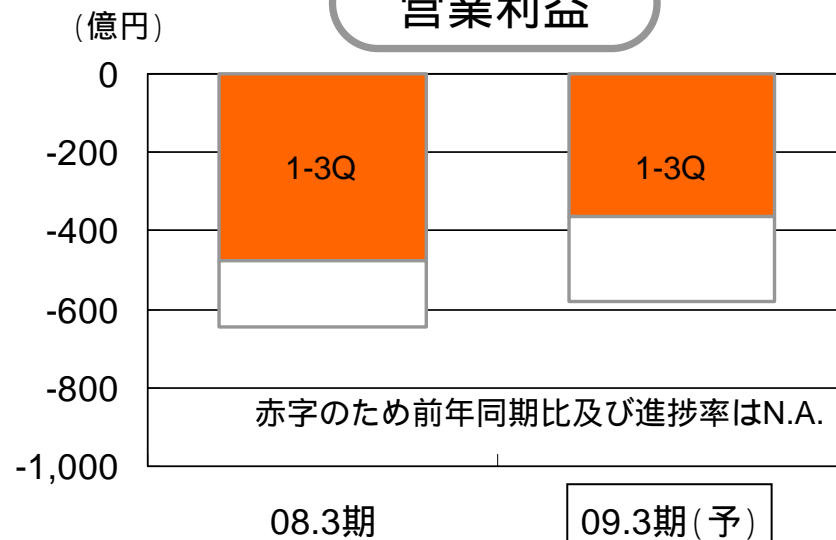
	08.3期		09.3期(予)	
	3Q		3Q	
契約数(千)	29,555	30,339	30,550	31,600
内モジュール系	801	814	910	1,000
au 計	29,196	30,105	30,550	31,600
WIN(EV-DO)	18,126	19,695	21,799	24,000
1X	10,613	9,993	8,405	-
cdmaOne	456	417	347	-
ツーカー(PDC)	359	234	0	0

4. 固定通信事業

営業収益



営業利益



(億円)

	08.3期		09.3期(予)			
	1-3Q	3Q	1-3Q	前年同期比	進捗率	3Q
営業収益	5,343	7,186	6,353	+18.9%	74.3%	8,550
営業利益	-478	-647	-364	-	-	-580
マージン	-8.9%	-9.0%	-5.7%	-	-	-6.8%
経常利益	-474	-648	-396	-	-	-620
当期純利益	-300	-517	-106	-	-	-380
FCF	-266	-539	-84	-	-	-1,170
EBITDA	427	581	636	+48.8%	78.5%	810
マージン	8.0%	8.1%	10.0%	-	-	9.5%

契約数 (千)	08.3期		09.3期(予)	
	3Q	3Q	3Q	3Q
ADSL	1,437	1,396	1,265	1,280
FTTH	698	710	1,025	1,140
メタルプラス	3,271	3,279	3,201	3,080
ケーブルプラス電話	-	286	517	580
ケーブルテレビ	-	667	712	700
(再掲)固定系アクセス回線	-	4,827	5,265	5,300

(注1) ADSL one(メタルプラス利用時のADSL)を含む。

(注2) ケーブルテレビ契約数は放送、インターネット、電話のうち、一つでも契約のある世帯数。

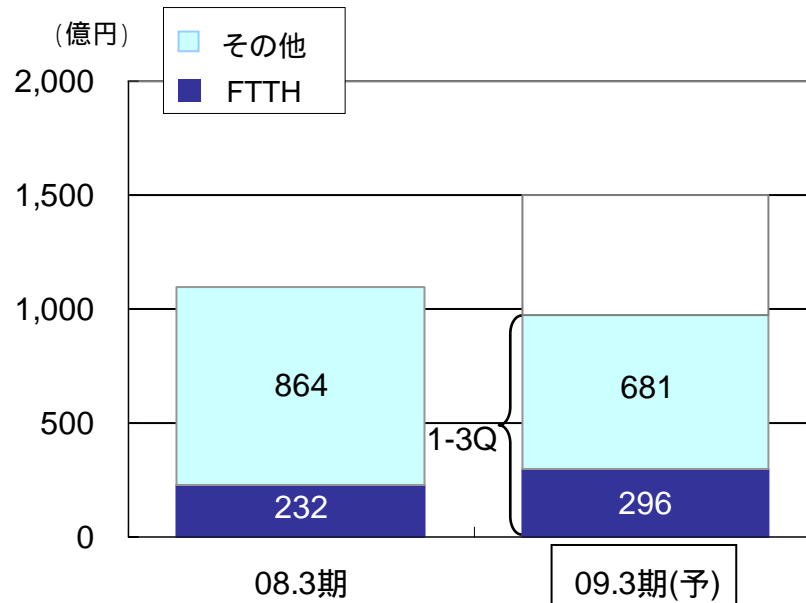
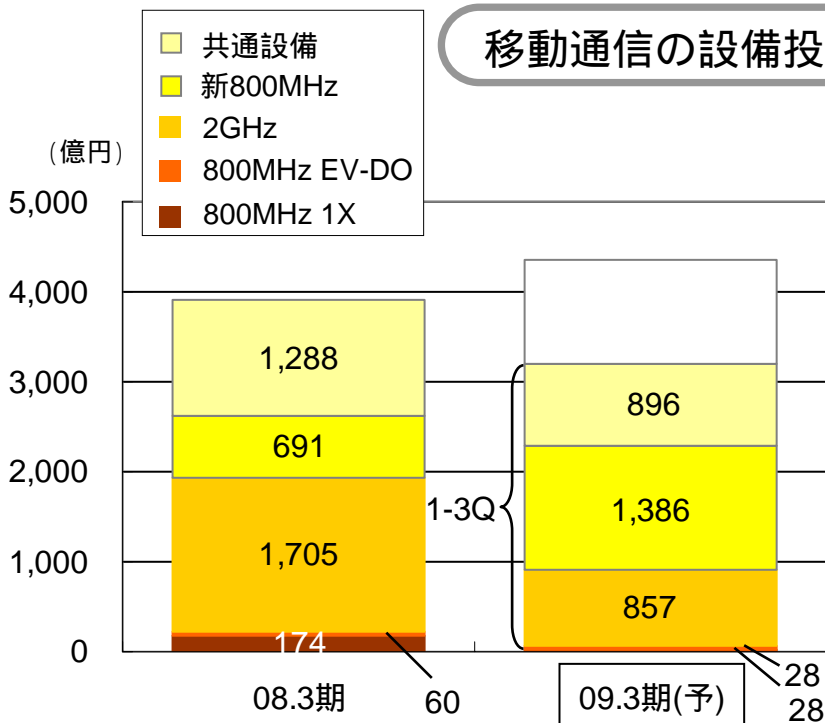
(注3) 固定系アクセス回線はFTTH、直収電話(メタルプラス、ケーブルプラス電話)、ケーブルテレビのアクセス回線で重複を除く。

(注4) 09.3期は、連結子会社のCTC、及び、従来「その他セグメント」に含まれていたJCNグループと海外固定系子会社を含めている。

5. 設備投資

移动通信の設備投資

固定通信の設備投資



(億円)

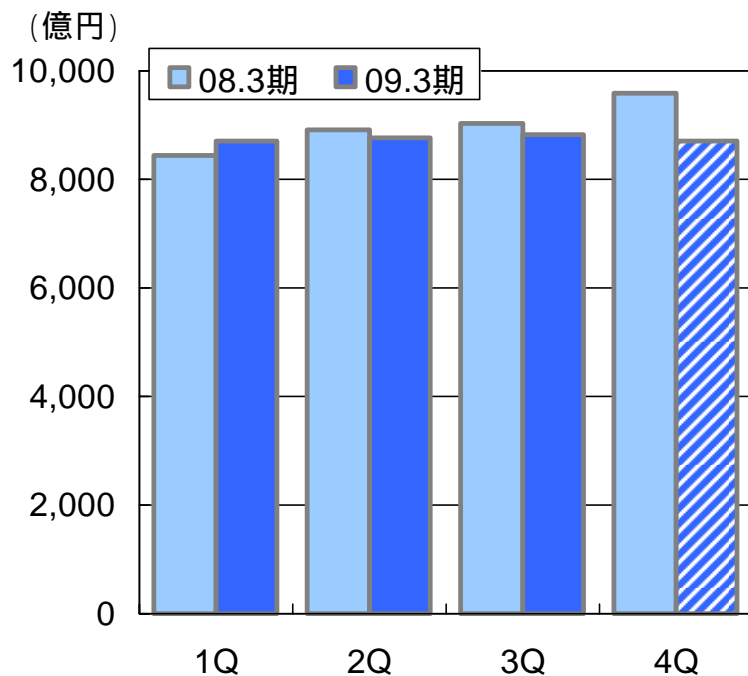
		08.3期		09.3期(予)			
		1-3Q		1-3Q	前年同期比	進捗率	
設備投資(支払)	連結	3,183	5,170	4,190	+31.6%	71.0%	5,900
	移动通信	2,367	3,917	3,195	+34.9%	73.3%	4,360
	固定通信	706	1,096	977	+38.4%	65.1%	1,500

(注)4ビル買戻し額 2,071億円は除く。

(参考) 業績の四半期推移

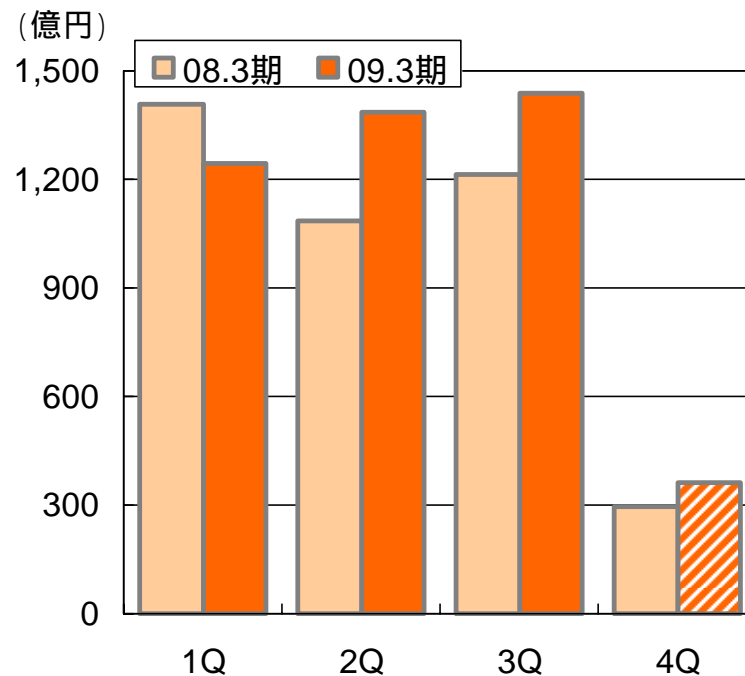
通期の営業利益は前期比10.6%の増益の見通し。

連結営業収益



	08.3期	09.3期	前期比
1-3Q累計	26,387億円	26,297億円	-0.3%
通期	35,963億円	35,000億円(予)	-2.7%

連結営業利益



	08.3期	09.3期	前期比
1-3Q累計	3,710億円	4,067億円	+9.6%
通期	4,005億円	4,430億円(予)	+10.6%

各事業の状況



移動通信事業



固定通信事業



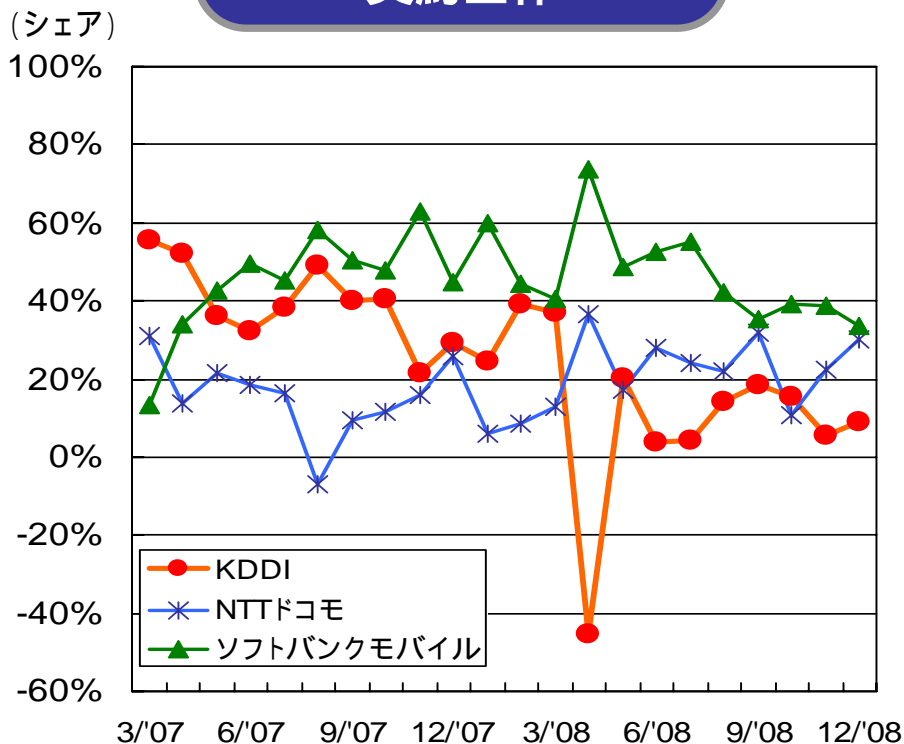
FMBC

1.1. KDDIの純増シェア

ARPUの高いIP接続ベースでの月次純増シェアは比較的堅調に推移。

12月末の契約数は3,055万、累計シェア28.9%。

契約全体



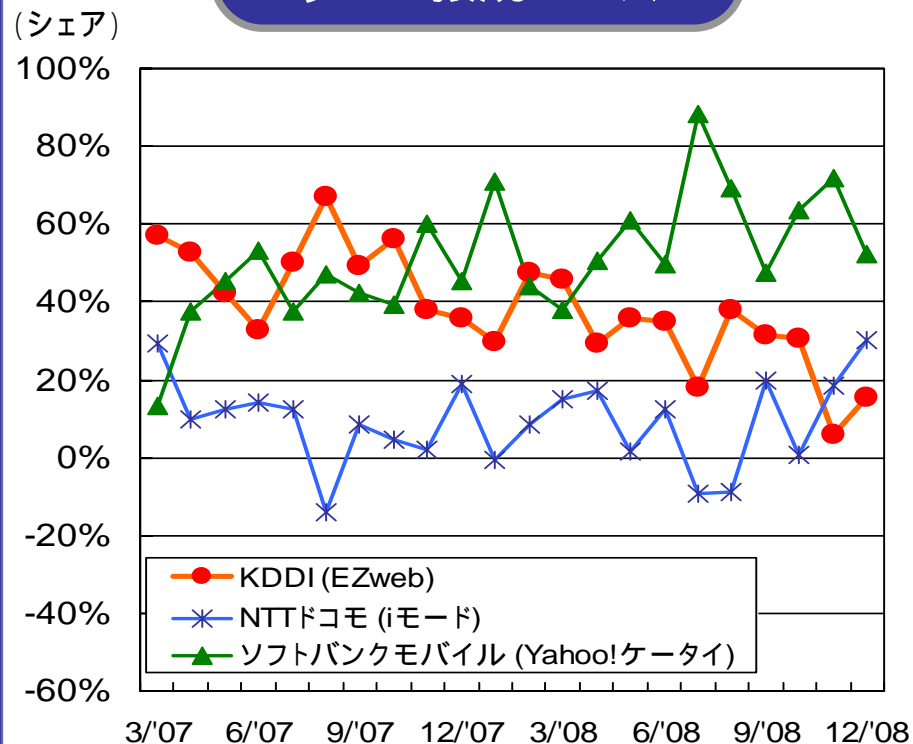
08.3期 / 通期

09.3期 / 1-3Q

215万契約 / 35.8%

21万契約 / 6.8%

うち IP接続ベース



08.3期 / 通期

09.3期 / 1-3Q

198万契約 / 45.9%

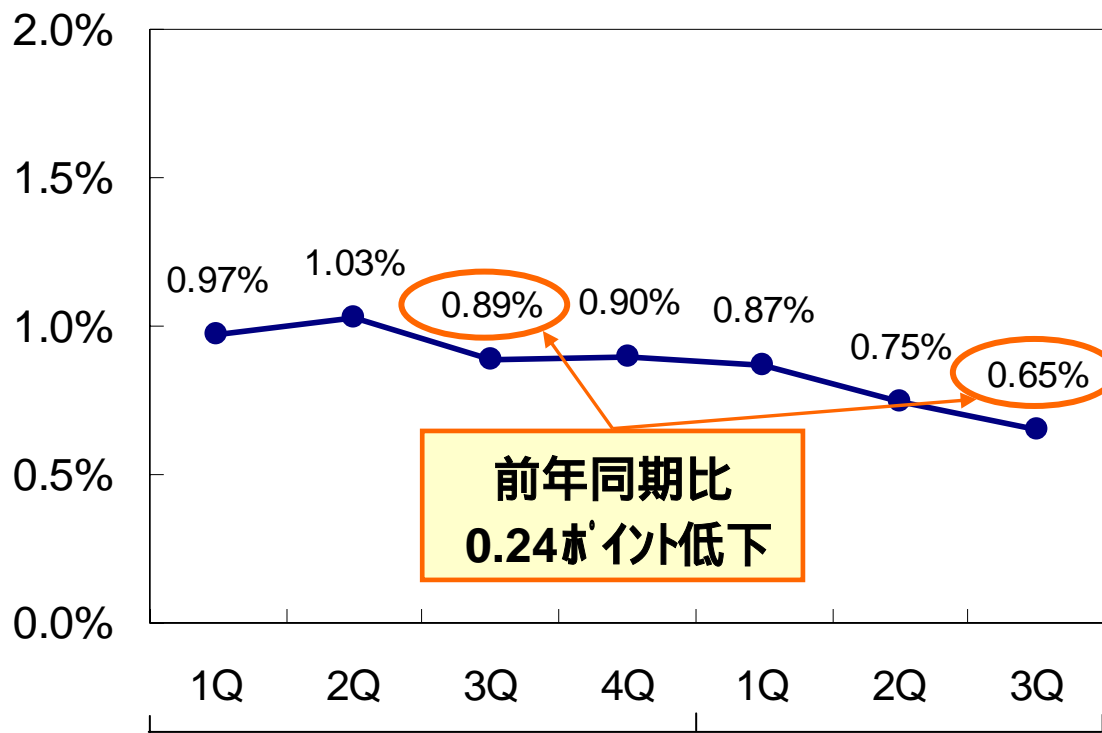
40万契約 / 27.0%

(注1) KDDIの月次純増シェアは、au+ツーカーの合算。なお、ツーカーは08年3月末にサービス終了の為、08年4月までグラフに反映。

(注2) イー・モバイルの契約全体の月次純増シェアは07年12月まで、IP接続ベースの月次純増シェアは08年2月までグラフ上含めず。

1.2. auの解約率

3Qの解約率は0.65%と、前年同期比0.24ポイント低下。



前年同期比
 0.24ポイント低下

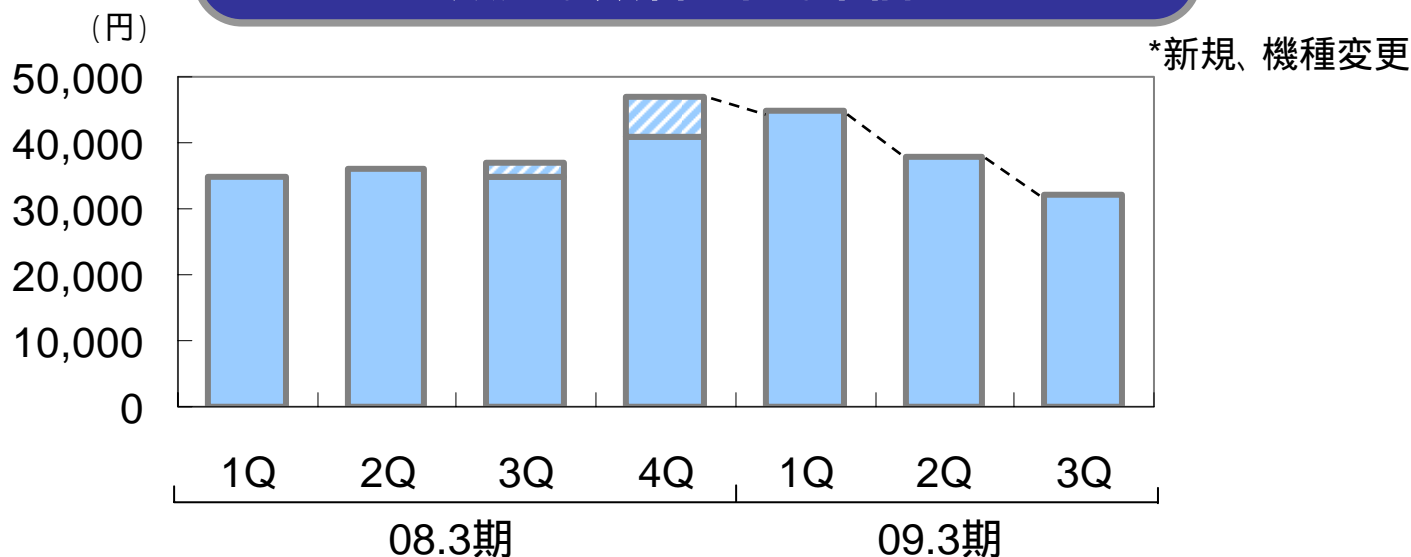
08.3期 通期平均 <0.95%>
 09.3期(予) 通期平均 <0.91%>

(注)解約率はモジュール系を除く。

1.3. auの販売手数料

3Qの販売手数料平均単価は、32,000円。

販売手数料 平均単価*

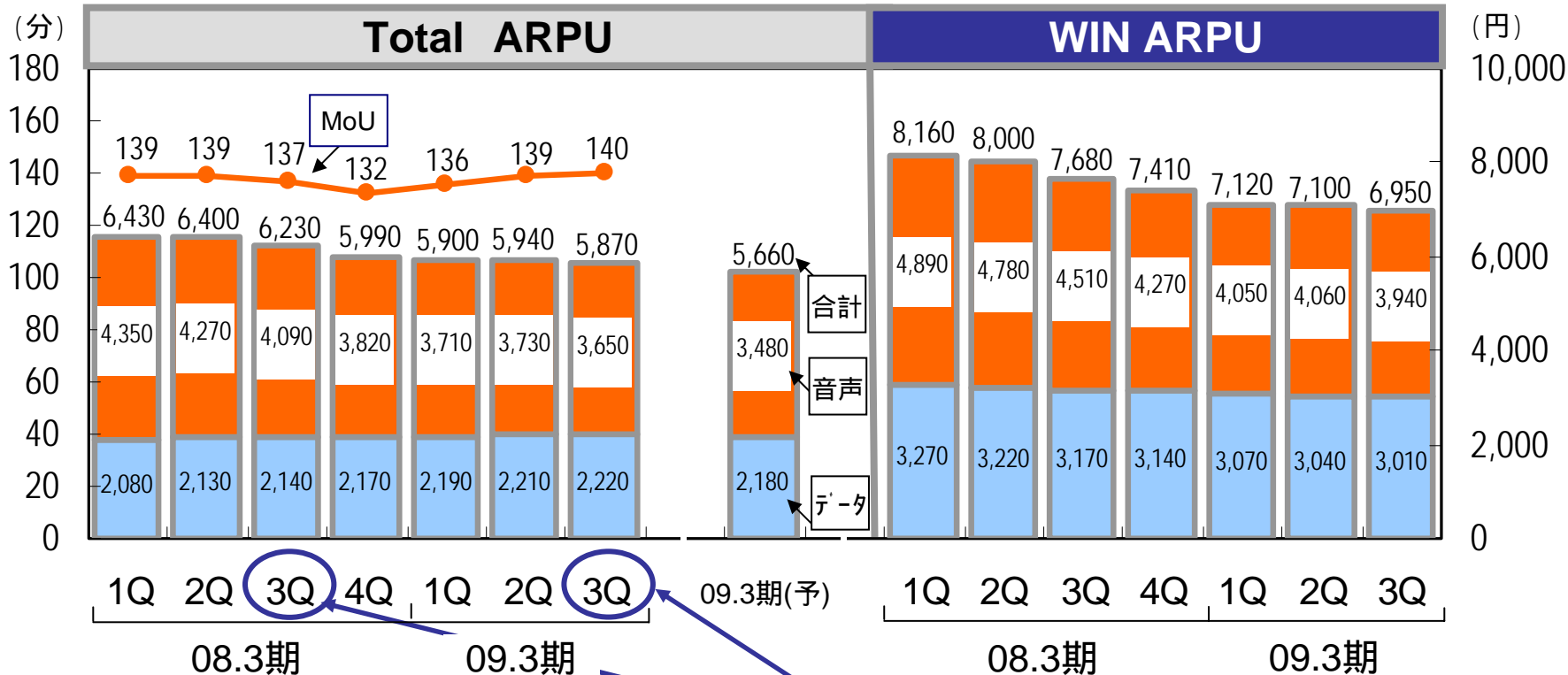


	08.3期					09.3期(予)				09.3期 期初予想
	1Q	2Q	3Q	4Q	5Q	1Q	2Q	3Q	今回予想	
販売手数料総額 (億円)	1,240	1,490	1,300	1,830	5,860	1,290	1,040	790	-	-
販売手数料平均単価(円)	35,000	36,000	35,000	41,000	37,000	45,000	38,000	32,000	-	-
販売台数(万台)	353	408	370	451	1,582	286	270	245	1,090	1,440

(注) 販売手数料平均単価については、08.3期 3Qの「au買い方セレクト」導入以降、端末販売に係る粗利増加相当分(グラフ斜線部分)を控除して計算していたが、2009年3月期からは控除しないベースで計算。

1.4. auのARPU

引き続きデータARPUは堅調に推移。



通期平均	08.3期	09.3期(予)
合計	6,260円	5,660円
うち 音声	4,130円	3,480円
データ	2,130円	2,180円

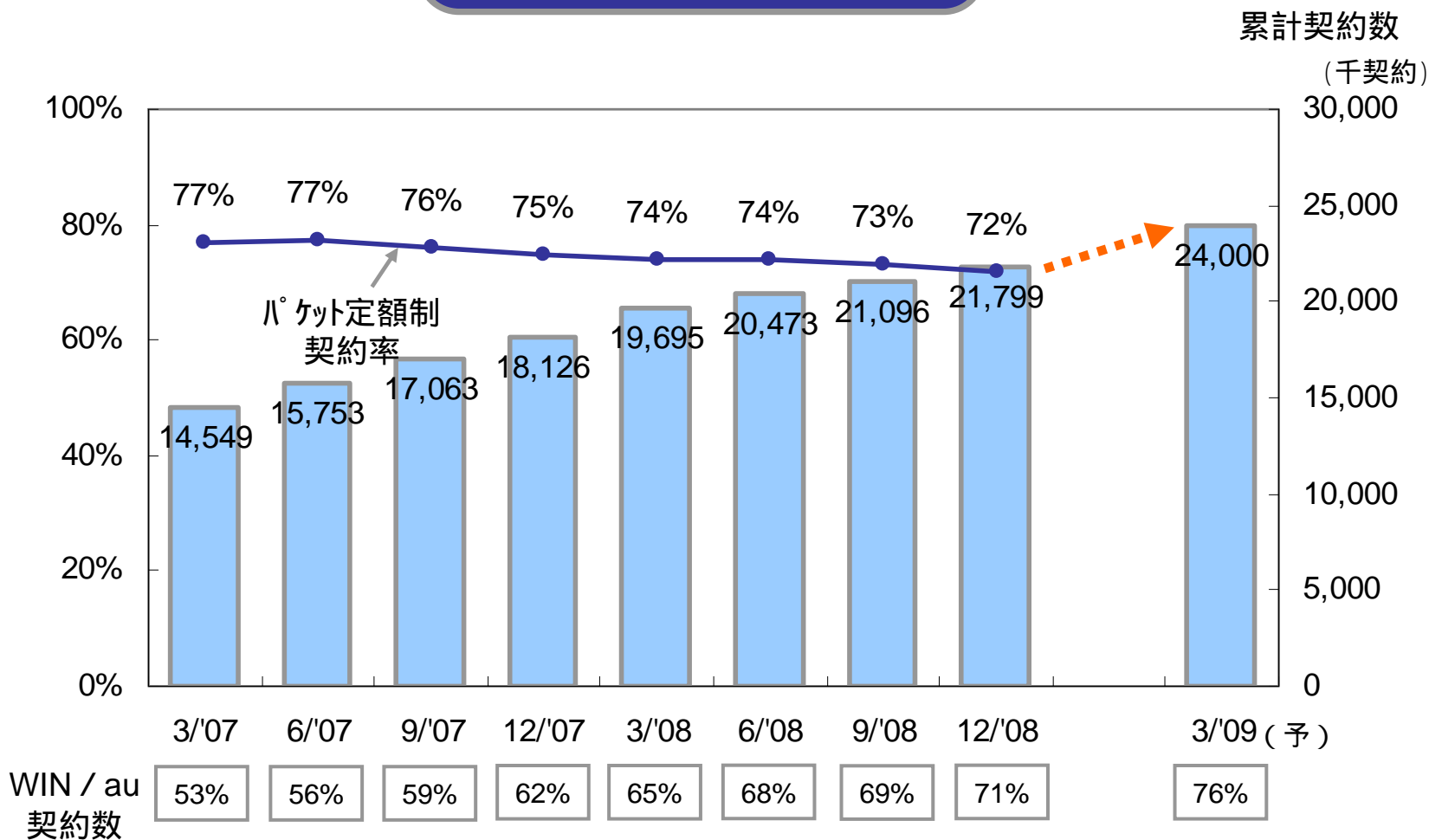
前年同期比	
合計	360円 (- 5.8%)
うち 音声	440円 (+ 10.8%)
データ	+ 80円 (+ 3.7%)

1.5. WINの状況

12月末時点でWINの契約数の割合はau全体の71%に増加、
うち、パケット定額制の契約率は72%と引続き高水準。



WIN契約者の伸び



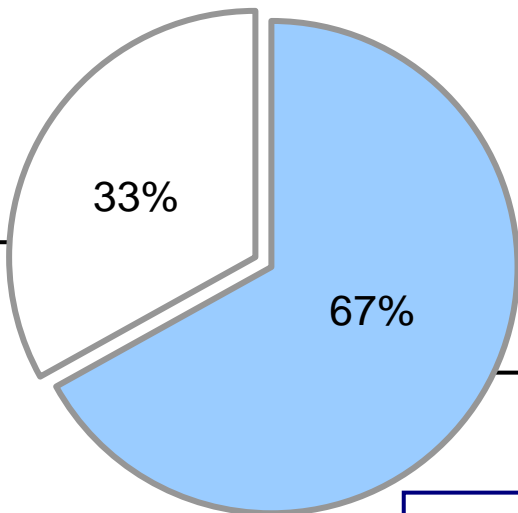
2. 「au買い方セレクト」

対象端末に対し、3Qは67%のお客さまが「シンプルコース」を選択。

総販売台数に対する3Qの「シンプルコース」の選択は59%と、着実に浸透。

対象端末に対するコース選択状況

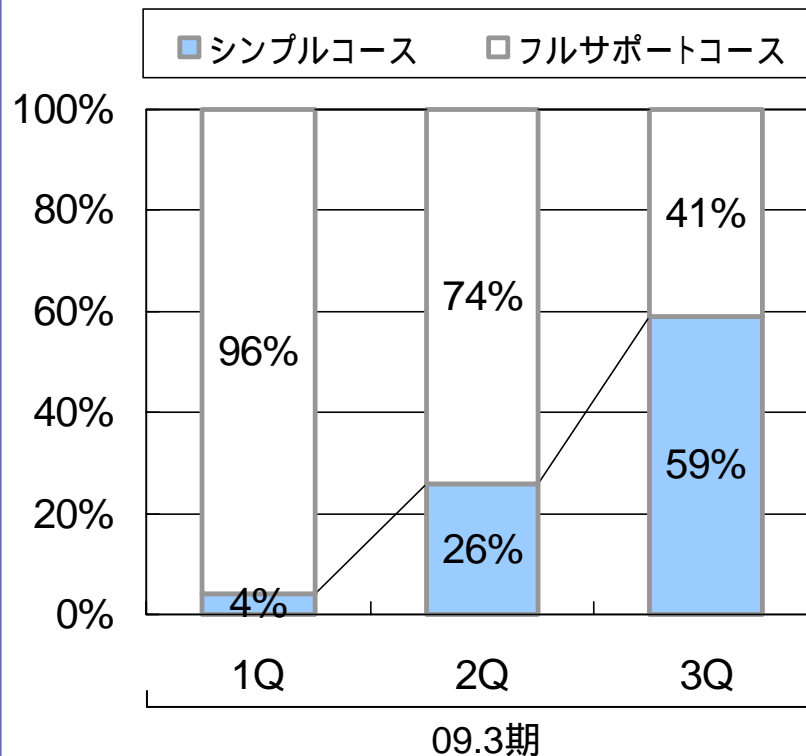
フルサポートコース (購入サポートあり)



シンプルコース

(購入サポートなし)

総販売台数に対するコース選択状況



(注) W61S、および08夏モデル以降に発売された端末のうち、10月1日～12月31日販売分が対象。

3. 端末販売台数減少への対応

今年度に入り、端末の販売台数が急激に減少し、端末在庫が増加。当該状況に鑑み、08秋冬モデル端末からは市場環境の変化を考慮した端末数を発注。

今年度は、3Qまでに119億円の端末評価減を計上。

		08.3期		09.3期	前年同期比
端末販売台数	(1-3Q累計)	1,132万台	➡	800万台	29%減
端末在庫数 ^注	(3Q末)	130万台	➡	210万台	+80万台
端末評価減	(1-3Q累計)	15億円	➡	119億円	+104億円

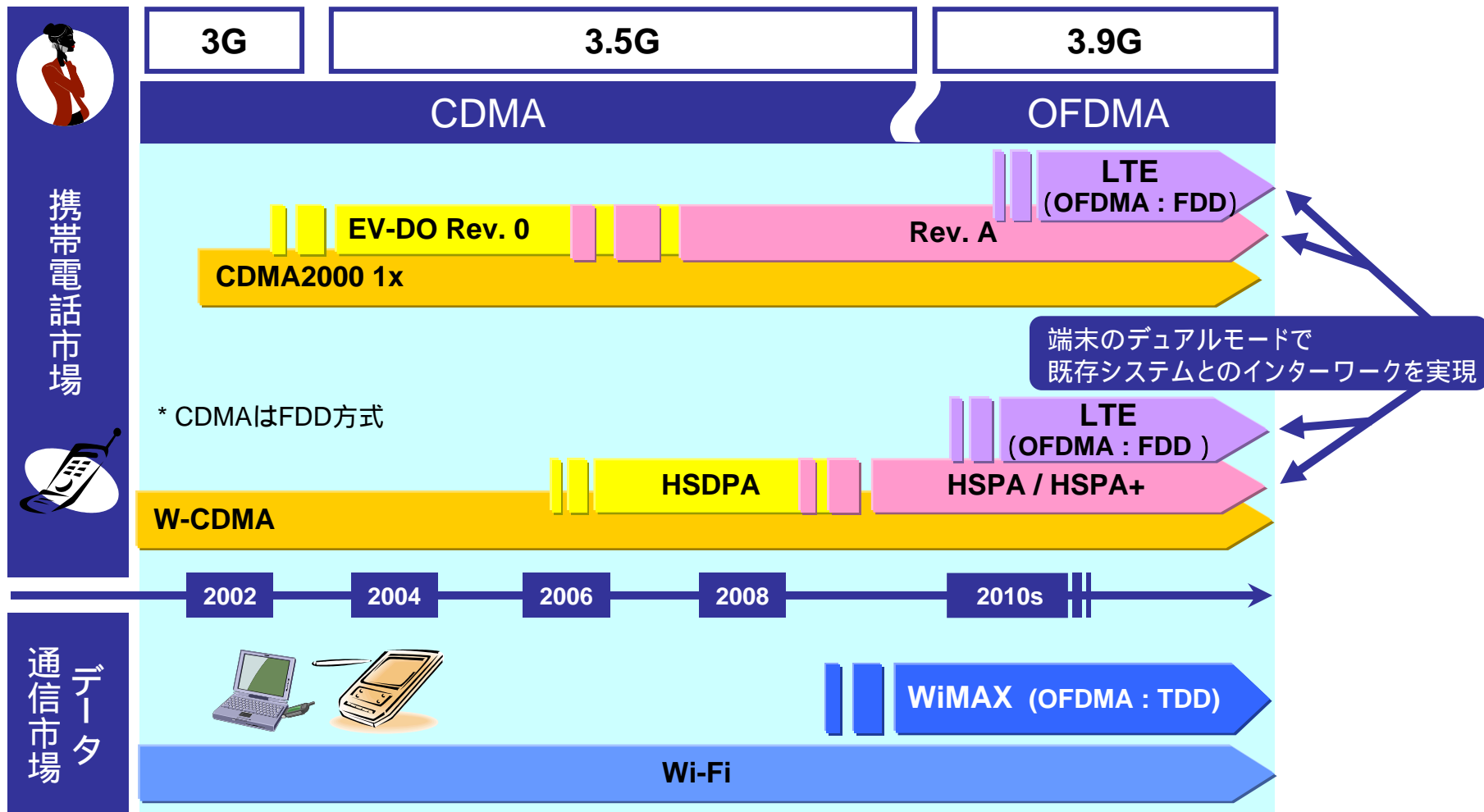
期末に向けての取り組み

- ✓ 最大の商戦期である春に向け、販売手数料のコントロールも図りながら販売に注力。
- ✓ 09春モデルについても市場環境の変化を考慮した端末数を発注。

(注) 端末在庫数には評価減した端末を含む。

4. 次世代システム (3.9G)

国際動向、コスト・汎用性、将来の発展性に鑑み、LTEを導入。
 LTEにより、周波数利用効率の向上と、ビット単価の低減を実現へ。

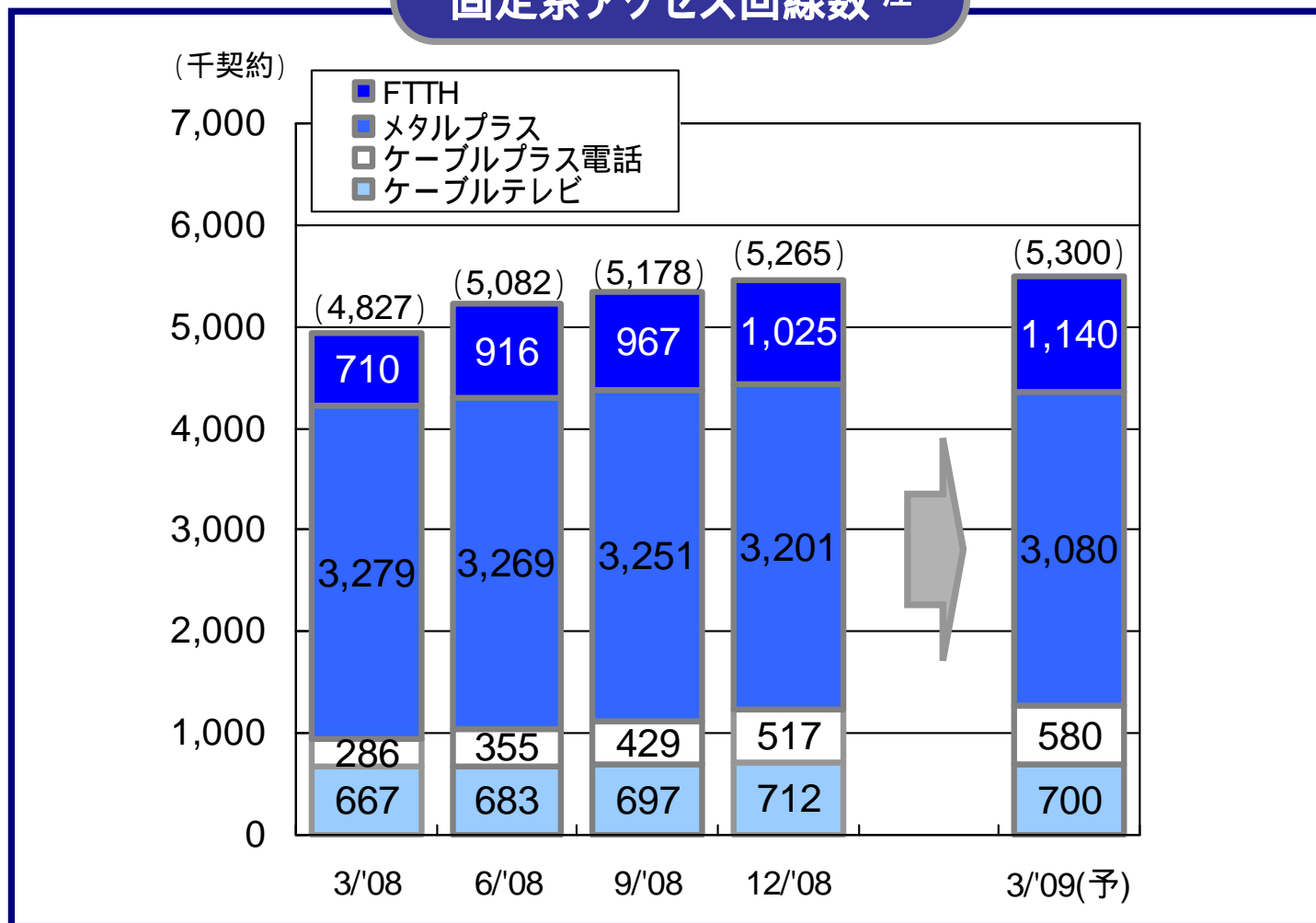


(注) LTE : Long Term Evolution、OFDMA: Orthogonal Frequency Division Multiple Access
 インターワーク: 他システムへのシームレスなハンドオーバー。

1. 固定系アクセス回線

12月末の固定系アクセス回線数は527万。

固定系アクセス回線数 注



(注) () は各アクセス回線数の合計値で重複を除く。

2. 「ギガ得プラン」の初期状況

ひかりoneホーム「ギガ得プラン」に対するお客さまからの反応は良好。特に札幌では申込が殺到し、一部受付停止の状況。

「ギガ得プラン」投入以降、ひかりone全体の獲得数が着実に増加する兆し。

地域別での初期状況

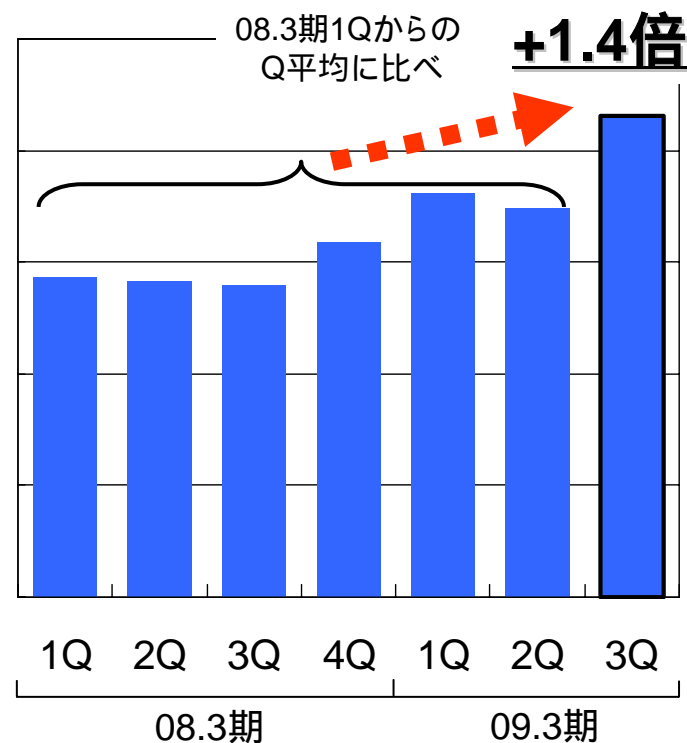
札幌

- 申込が殺到し、一部受付停止の状況

関東

- お客さまからの反応は良好
- 販路の充実により、獲得数は着実に増加

ひかりone全体の獲得数

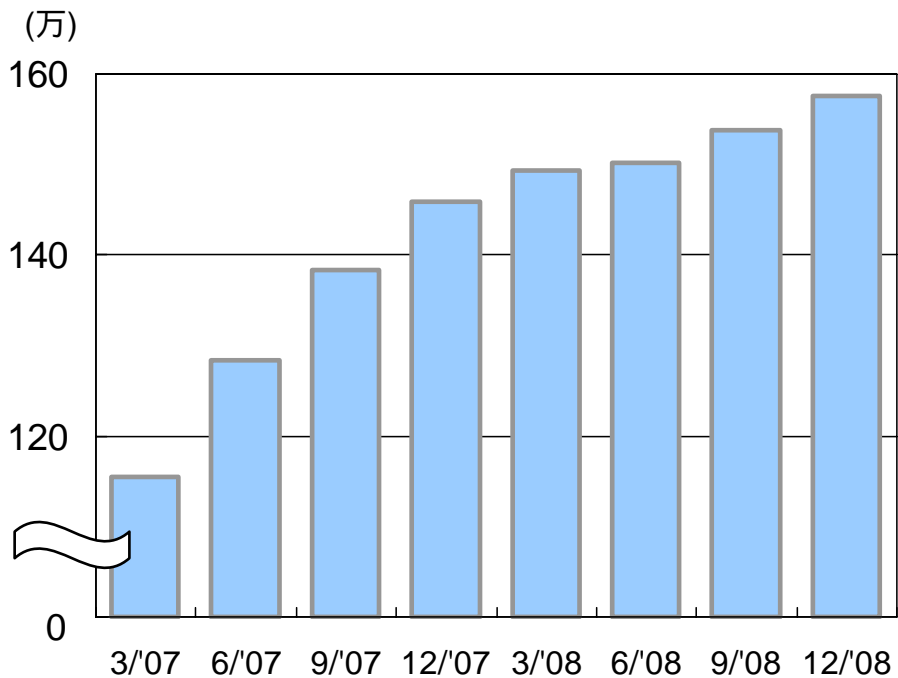


1. 「KDDIまとめて請求」

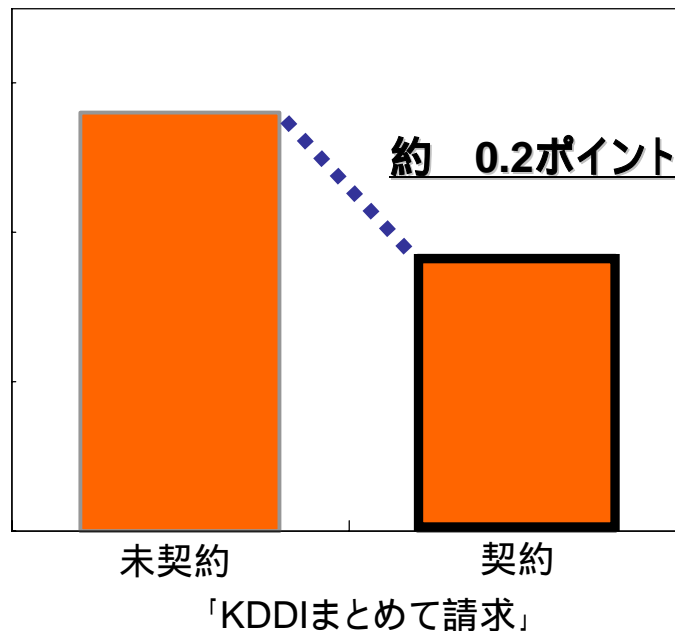
昨年8月開始の「auまとめてトーク」も奏功し、「KDDIまとめて請求」の請求発行数は、12月で158万と着実に増加。

「KDDIまとめて請求」契約者のauケータイ解約率は、未契約に比べ約0.2ポイント低く、さらなる浸透を図る。

「KDDIまとめて請求」の請求発行数



auケータイ解約率注

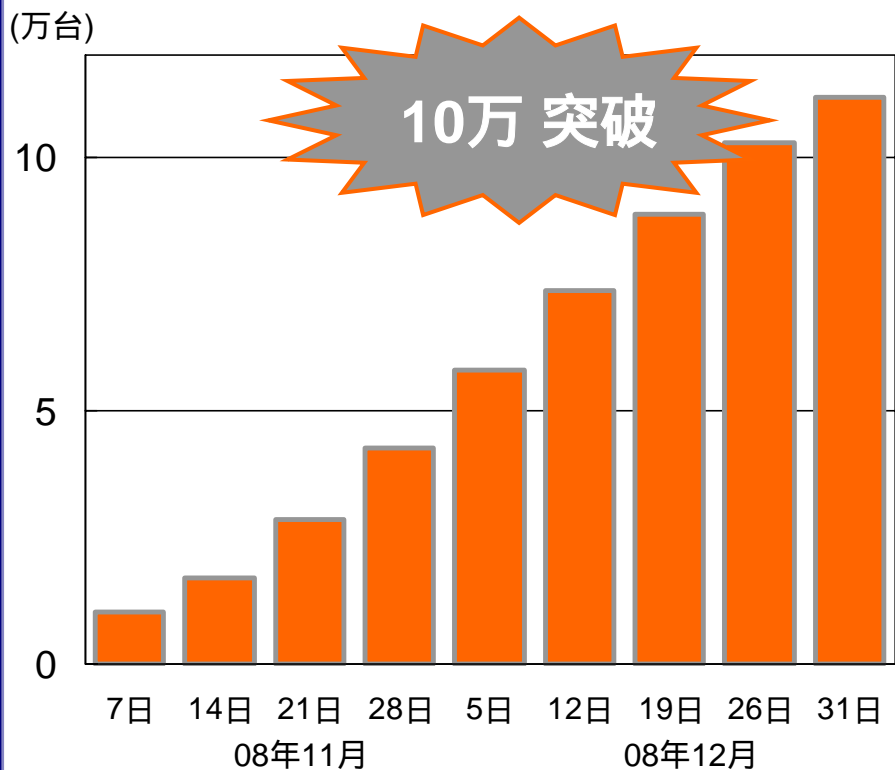


(注) 法人契約を含まない個人を対象とした3Qの数値。

2. 「au BOX」の初期状況

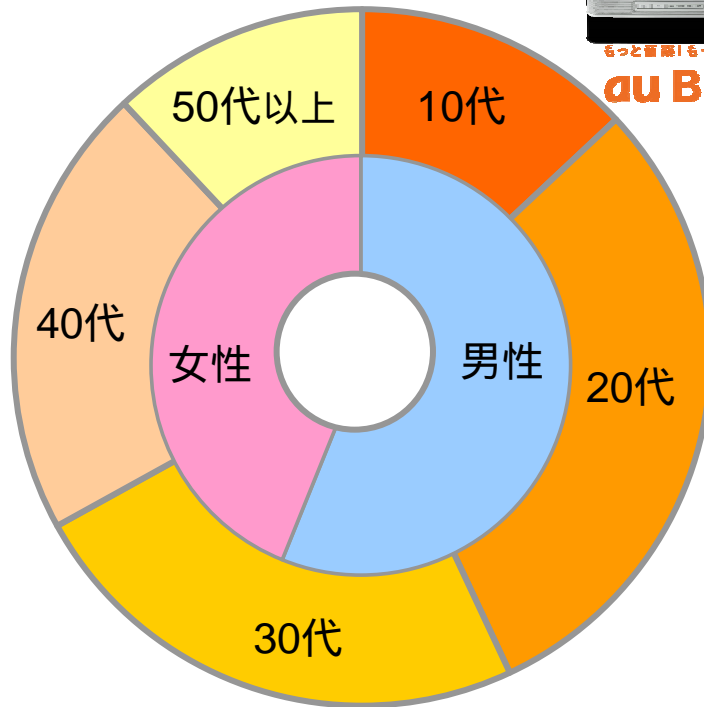
「au BOX」は、提供開始2ヶ月目で契約数が10万を突破し(12月26日)、順調に拡大。メインターゲットの10代に限らず、幅広い年代層も契約。

「au BOX」の契約数



* 契約数(累計ベース)の週次推移

(参考) 「au BOX」の契約状況



* 08年12月末時点

Designing The Future
KDDI